

第3回 福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会

次第

日時：平成30年9月7日（金）

午後2時30分～

午後4時00分（終了予定）

場所：市民交流プラザふくちやま
4階 会議室4-1

- 1 開会挨拶

- 2 ポッポランドのあり方について協議
 - （1）設置目的について

 - （2）運営主体について

 - （3）施設内容・場所・資金調達について

- 3 その他

福知山鉄道館ポップランドのあり方検討委員会

(敬称略)

	名前	所属等	備考
1	足立 和義	福知山鉄道館ポップランド運営委員会 館長 西日本鉄道OB会福知山地方本部 顧問	
2	足立 政人	福知山商店街連盟 会長	
3	井上 敬規	プラスソーシャルインベストメント株式会社 取締役	
4	榎原 傑	元京都北都信用金庫 常務理事 元福知山市土地開発公社 第三者委員	
5	梶村 誠悟	福知山商工会議所 専務理事	
6	杉岡 秀紀	公立大学法人福知山公立大学 准教授	
7	福島 慶太	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社 福知山地域本部 福知山観光協会	
8	吉見 美晴	京都府行政書士会 常任理事 福知山市社会福祉協議会 評議員	
9	赤井 貴恵	市民公募委員	
10	本多 洋子	市民公募委員	
事務局	桐村 正典	福知山市産業政策部 部長	
	大西 孝治	福知山市産業政策部産業観光課	
	渡邊 清華	〃	
	伊庭 弥広	〃	
	谷 翔平	〃	

第2回 福知山鉄道館ポッポランドのあり方検討委員会
議事概要

1 日 時 平成30年8月10日(金)午後2時30分～午後4時15分

2 場 所 市民交流プラザふくちやま 4階 会議室4-1

3 参加者

委 員	足立和義委員 (福知山鉄道館ポッポランド運営委員会 館長) 足立政人委員 (福知山商店街連盟 会長) 井上敬規委員 (プラスソーシャルインベストメント株式会社 取締役) 榎原傑委員 (元京都北都信用金庫 常務理事) 梶村誠悟委員 (福知山商工会議所 専務理事) 杉岡秀紀委員 (福知山公立大学 准教授) 福島慶太委員 (一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社 福知山地域本部 福知山観光協会 会長) 吉見美晴委員 (京都府行政書士会 常任理事) 赤井貴恵委員 (市民公募) 本多洋子委員 (市民公募)
事務局 (福知山市)	桐村部長、大西担当課長、渡邊係長、伊庭主事

4 会議概要

次 第	内 容
開会挨拶	桐村部長
情報提供	【資料】により説明。
協 議	互選により吉見委員及び赤井委員が副委員長に選出。 議論の結果、『福知山市内に、子どもから「親子連れ」お年寄りまで幅広い層(3世代)が集まる拠点をつくり、「鉄道のまち」福知山として魅せる化するとともに、「みんなでつくる」「まち全体が鉄道のまち」をキーワードに、市内外を問わず人々が交流できる場と機会を創造する。もって、先人の努力で培ってきた鉄道のまち福知山の歴史を次代に継承するとともに、市民のまちへの愛着や誇りを涵養し、かつ周辺地域とも連携しながら鉄道資源を活用した持続可能な観光地域づくりに寄与する。』を施設目的原案とし、次回検討委員会以降、主体、施設内容、資金調達などについて議論する。

	<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■従来の施設目的を漫然とコピー&ペーストするのではなく、この中で絶対に残しておきたいことや、新たに付け加えるべきことを議論していきたいと思います。 ■鉄道の歴史、先人の努力ということを継承していく上で、「鉄道のまち」という5文字は外せないキーワードであると思います。 ■ターゲットとか見せ方ということについては、これからも続いていく上で見直す必要があると思います。 ■子育ても含めて、もう少し考え方を变えて、より市民に親しんでもらえることが長続きする上で重要ではないかと考えています。 ■児童科学館は非常に多くの来場がありますので、場所の議論になってしまうかもしれませんが、児童科学館とポッポランドを複合化させてはどうかと考えています。広い駐車場もありますので、相乗効果でより多くの子ども達に利用していただけるのではないかと考えています。 ■福知山駅は30万人都市に匹敵する駅舎です。例えば駅舎の中で、場所は少し小さくてもポッポランドがあれば、外から来られる方にもたくさん見ていただけることがベストなのではないかと思ます。 ■中心市街地活性化と鉄道のまちを一緒くたにしていることでわかりにくくなっているのではないのでしょうか。ポッポランドについては、切り離して考えていただきたいと思います。 ■資金関係についてですが、運営主体としては、公設公営というのは一番難しいと考えております。毎年、事業評価を行い、色々な民間業者の工夫や競争も生まれるような運営主体がよい。言葉は悪いですが、天下りの運営主体がずっと漫然と運営をしていくというのは続かないと考えています。 ■ポッポランドは1つの施設をさしているのではなくて、まち全体をさしてポッポランドであるという押し出しかたもできるのではないかと思います。 ■本当に鉄道のまちということを市全体で共有することができるのかということが不安です。特に、小学校で鉄道のまちについて積極的に学習がしていただけていないという状況で、鉄道のまちなのだということ盛り上げていくことができるのでしょうか。
その他	<p>次回検討委員会日程を、平成30年9月7日(金)午後2時30分～午後4時00分に決定。</p>

情報提供-視点等整理-

検討事項	視点	主な意見
設置目的	観光振興	○ターゲットや外への見せ方が持続可能性においても重要。
	子育て支援	○子どもの利用やニーズが多いのではないか。 ○親子で行ける施設があまりない。特に雨天時等。 ○子育て世代のつながりの場にニーズがある。
	「鉄道のまち」歴史継承	○鉄道が産業の牽引車として発展を支えてきた。 ○どう打ち出していくのか。シティプロモーションでの位置づけの確認が必要。 ○今でも各鉄道の結節点であり誇れることである。
	市民ニーズ	○本当のところどういったところにニーズがあるのか。 ○みんなのポッポランドだということが重要。
	中心市街地活性化	○中心市街地の活性化にこだわる必要はない。

情報提供-視点等整理-

検討事項	視点	主な意見
主体（整備・運営）	行財政の逼迫	○財政収支比率が大変悪い。 ○自立的な運営が必要。
	入館者数	○入館者数の更なる増加が見込める運営主体の選定が必要。
	費用負担	○施設の管理・運営のみで運営主体は採算がとれるのか。 ○整備と運営を分ける。（公設民営、民設民営等）
	市民参画	○市民が運営などにも参加しやすいことが重要。
	選定方法	○民間事業者の工夫や競争も生まれるような主体選定が必要。

情報提供-視点等整理-

検討事項	視点	主な意見
施設内容 (ソフト・ハード)	マニア・観光	
	子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> ○プラレールなど、子どもが遊ぶことができる場。 ○休憩室や授乳室など。
	歴史次世代継承	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道を利用することが殆どなく育つ子もおられる。鉄道のまちと言われても実感として持つことができないのではないか。 ○小学校で鉄道のまちについて積極的に学習していただけていない状況を変える必要がある。

情報提供-視点等整理-

検討事項	視点	主な意見
設置場所	アクセス性・駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ○来場しやすいことが重要。 ○三段池公園には非常に多くの駐車場がある。 ○多くの乗降客があり、30万人都市にも匹敵する駅舎である福知山駅の中がよいのではないか。
	回遊性	<ul style="list-style-type: none"> ○3号館、4号館という構想があってもいい。 ○1つの施設を指してポッポランドというのではなく、まち全体をさしてポッポランドという推し出し方もできないか。 ○2号館のみを中心市街地に残して誘客できるのか。
	移転経費	
	集積性	<ul style="list-style-type: none"> ○児童科学館と複合化させてはどうか。動物園なども近く、相乗効果が期待できる。 ○駅近くにはSL、転車台もあり、ブランディングしやすい。
	施設	<ul style="list-style-type: none"> ○廃校小学校 ○勤労青少年ホーム ○児童科学館 ○福知山駅・高架下

情報提供-視点等整理-

検討事項	視点	主な意見
資金調達	イニシャルコスト	○市民瓦一枚運動で福知山城再建をしたような共感や機運の醸成が必要。
	ランニングコスト	○財政状況が逼迫していく中で、補助金に依存した継続は見込めない。
	手法	○ソーシャルインパクトボンドの活用。 ○ファンドの活用。